

平成 27 年度 教育部座談会報告書

平成 27 年度教育部座談会を開催しましたので、以下にご報告させていただきます。

日 時：平成 27 年 12 月 13 日（日） 10 時 00 分～12 時 00 分

テーマ：仕事と子育て両立のための座談会

会 場：霞城公民館 2 階 研修室 2（和室）

参加者：大人 9 名、子供 10 名

スタッフ：菅原麻理子（日本海総合病院）、梅津真穂（山形ロイヤル病院）、
鈴木健太（青空訪問看護事業所）

内 容：①6 月に実施したアンケート結果の報告

②テーマに沿った意見交換

- ・仕事と育児の両立（家族の理解・協力、職場の配慮等）について
- ・学習の継続について

座談会（数人が集まり、それぞれの意見などを気軽に話し合う会）形式という事で、和室に長テーブル 4 脚と座布団のみ準備して研修会を行いました。脇では子供たちが走り回り、参加者の中には子供を抱きながら配布資料に目を通していている人もいました。アンケート結果の報告や意見交換は 30 分で区切り、15 分と長めの休憩をはさみながら実施しました。途中で席を立ち子供の様子を見に行ったり、授乳のため席を外す参加者もいて、普段とは違った雰囲気ではありましたが、時間の許す限り意見交換を行えました。男性の参加は 2 名と少なかったですが、仕事と育児の両立は女性だけの問題ではなく、男性目線の意見も交えて意見交換が行えた事も良かったと感じました。

<研修会に参加して>

子供連れでの研修会は大変ありがたかったです。休日や仕事が終わってからの勉強会などに参加できれば 1 番良いと思うのですが、家庭内での役割や育児があると参加は難しく、そこに参加しないから学ぶ気持ちがないと捉えられてしまうととても悲しいです。お互いの立場の違いを理解する事は難しいとは思いますが、このような座談会を少しずつ開催し、新しい勉強会スタイルを作れたらいいなと思いました。

青空訪問看護事業所 茂木瑠美子

～教育部の研修会に参加して～

育児休暇中でしたが、声をかけていただいて子供と一緒に参加させてもらいました。第一の感想として、参加したことで仕事と家庭と子育てと色々考えると不安なことばかりありますが、自分だけではなく同じような気持ちの方がいるんだという安心感から心が軽くなり、お互いに話すことで元気になって参加する前よりも気持ちがすっきりして軽くなって自宅に帰って来ました。そして、仕事復帰後も頑張り過ぎないように頑張ろうと前向きな気持ちになりました。

妊娠・出産・育児休暇を経て、子育てしながらの復帰と生活サイクルが大きく変化することに不安感があり、子育てしながらの研修会参加もままならず、PTとして何だか孤立感を勝手に感じて焦ったりもしていましたが、子育てと仕事を両立している経験者である先輩方の話を聞くことで目の前のことへの不安感よりも、もっと先を考えた上での仕事と生活のバランスを前向きに考えるきっかけになりました。

またこのような機会があれば PT と家庭を両方好きで続けていくために参加したいと思います。

山形ロイヤル病院 島田佳美